

学校法人 五島育英会  
東京都市大学原子力研究所(廃止措置中)  
平成30年度(第2回)保安検査報告書

令和元年5月  
原子力規制委員会

## 目 次

1. 実施概要 .....	1
(1)保安検査実施期間	
(2)保安検査実施者	
2. 保安検査内容 .....	1
(1)基本検査項目	
(2)追加検査項目	
3. 保安検査結果 .....	1
(1)総合評価	
(2)検査結果	
(3)違反事項	
4. 特記事項 .....	4

## 1. 実施概要

(1)保安検査実施期間(詳細は別添参照)

平成31年2月19日(火)

(2)保安検査実施者

川崎原子力規制事務所

原子力保安検査官 清水 春雄 他

## 2. 保安検査内容

今回の保安検査では、下記に示す検査項目について、関係者聴取、資料検査及び現場立入りにより保安規定の遵守状況の確認を行った。

(1)基本検査項目(下線は保安検査実施方針に基づく検査項目)

①改善活動の取り組みに係る検査

②保守管理の実施状況(廃止措置作業の実施状況を含む)に係る検査

(2)追加検査項目

なし

## 3. 保安検査結果

(1)総合評価

今回の保安検査においては、「改善活動の取り組み状況」及び「保守管理の実施状況」について検査を実施した。

品質保証活動の実施にあたり、原子力研究所長(以下「所長」という。)が品質保証計画を策定しており、これらの計画は年初に周知し、所内に掲示し、改善活動の取り組みを行っている。

職務及び組織については、所長が品質保証に係る保安に関し、必要な業務の計画、実施、評価及び継続的改善を実施するため、品質保証に係る組織に属する者に対し、教育や評価のための内部監査を実施していることを、「品質保証に係る教育計画(平成30年4月2日)」、「平成29年度内部監査実施報告書(平成29年2月19日)」等の記録及び関係者からの聴取により確認した。

品質保証活動の継続的改善については、毎年1回マネジメントレビュー及び不適合に係る是正措置もしくは予防措置を確認し、品質保証の改善を図ることとしている。また、品質保証活動において研究所内の内部のコミュニケーション手段として、所内会議及び管理室会議を実施しており、保安規定の改定並びにその遵守の徹底や三次文書の周知、定期自主検査等の原子炉施設の保安活動における品質保証活動についてPDCAを回し、QMSを維持向上していることを、「平成30年度原子力研究所第11回所内会

議(平成31年1月24日)」等の記録及び関係者聴取により確認した。

保安管理組織は、保安規定第7条に定めており、理事長は、原子炉施設に係る保安管理に関する業務として、施設、設備の保守及び管理に関し、その状況を事業所の長として法令に従い、原子力規制委員会へ報告を行っていること。

学長は、運営委員会を定期的開催し、施設・設備の保守及び管理状況の報告を受け、施設の運営方針等について検討を行っていることを、「放射線業務従事者線量管理報告書(平成29年度下期)」、「第38回東京都市大学原子力研究所運営委員会議事概要録(平成30年3月31日)」等の記録及び関係者聞き取りにより確認した。

原子力研究所長は、原子炉施設の運転に関する安全性及び保安に関する審議のため、主務者の他研究所内外の学識者により構成した原子炉安全委員会を設置している。原子力の外部委員は3名で、任期は2年となっており、維持すべき機器等の保守管理の計画、点検、実施等について承認を行っていることを、「第51回原子炉安全委員会議事録(平成30年1月25日)」の記録及び関係者聴取により確認した。

主務者は、原子炉施設に関する保安監督を行っており、施設定期自主検査実施計画への同意や自主検査の実施結果の報告も受けている。管理室長は、保安規定第8条に定めるところにより、原子炉施設管理の業務を行っており、定期自主検査の実施計画の作成、施設定期自主検査の実施、保守点検の実施結果の確認、原子炉施設の機器の検査や点検校正等について、巡視等での日常的な確認のなかで保守管理を行っていることを、「平成30年施設定期自主検査記録(平成30年年9月29日)」、「平成30年度修理、改造・取替記録(平成31年1月17日)」、「(「原子炉施設巡視記録(平成30年4月1日～平成31年2月19日)」等の記録及び関係者聴取により確認した。

上記のとおり、検査の結果、各検査項目について、保安規定に基づいて保安活動が実施されており、検査を行った範囲においては、保安規定違反となる事項は認められなかった。

## (2)検査結果

### ①改善活動の取り組みに係る検査

品質保証計画書に基づく内部監査、是正措置・予防措置及びマネジメントレビューを通じてQMSの有効性を継続的に改善している。こうした状況を踏まえ、事業者の改善活動に係るプログラムの充実及び運用の状況について検査を行った。

品質保証活動の実施にあたり、原子力研究所長(以下「所長」という。)が品質保証計画を策定しており、これらの計画は年初に周知し、所内に掲示し、改善活動の取り組みを行っている。

職務及び組織については、所長が品質保証に係る保安に関し、必要な業務の計画、実施、評価及び継続的改善を実施するため、品質保証に係る組織に属する者

に対し、教育や評価のための内部監査を実施していることを、「品質保証に係る教育計画(平成30年4月2日)」、「平成29年度内部監査実施報告書(平成29年2月19日)」等の記録及び関係者からの聴取により確認した。なお、品質保証活動の結果、発生した不具合については所長が管理を行っている。平成30年度において不具合は発生していないが、平成29年度の施設定期自主検査において不具合事案が発生したことを受け、その事案にたいする予防措置効果の確認をしており、全体の業務活動に反映させていることを、「平成29年度マネジメントレビュー会議開催の件(平成30年2月1日)」の記録及び関係者聴取により確認した。

品質保証活動の継続的改善については、毎年1回マネジメントレビュー及び不適合に係る是正措置もしくは予防措置を確認し、品質保証の改善を図ることとしている。また、品質保証活動において研究所内の内部のコミュニケーション手段として、所内会議及び管理室会議を実施しており、保安規定の改定並びにその遵守の徹底や三次文書の周知、定期自主検査等の原子炉施設の保安活動における品質保証活動についてPDCAを回し、QMSを維持向上していることを、「平成30年度原子力研究所第11回所内会議(平成31年1月24日)」、「平成29年度内部監査実施報告書(平成29年2月19日)」の記録及び関係者聴取により確認した。

## ②保守管理の実施状況

廃止措置を進めている状況のなかで、残存施設の老朽化を踏まえた上で、維持管理すべき機器等の保守管理が行われているか検査を行った。

検査の結果、保安管理組織は、保安規定第7条に定めており、理事長は、原子炉施設に係る保安管理に関する業務として、施設、設備の保守及び管理に関し、その状況を事業所の長として法令に従い、原子力規制委員会へ報告を行っていること。

学長は、運営委員会を定期的に開催し、施設・設備の保守及び管理状況の報告を受け、施設の運営方針等について検討を行っていることを、「放射線業務従事者線量管理報告書(平成29年度下期)」、「第38回東京都市大学原子力研究所運営委員会議事概要録(平成30年3月31日)」等の記録及び関係者聞き取りにより確認した。

原子力研究所長は、原子炉施設の運転に関する安全性及び保安に関する審議のため、主務者の他研究所内外の学識者により構成した原子炉安全委員会を設置している。原子力の外部委員は3名で、任期は2年となっており、維持すべき機器等の保守管理の計画、点検、実施等について承認を行っていることを、「第51回原子炉安全委員会議事録(平成30年1月25日)」の記録、関係者聴取により確認した。

原子炉施設管理室長(以下「管理室長」という。)は、毎週1回、受電設備、給水設備、送排風設備及び原子炉室の巡視を行い、異常がないことを確認していること、原子炉施設の保安のために特に管理を必要とする装置又は機器等の施設定期自

主検査の実施計画を作成し、原子炉主務者（以下「主務者」という。）の同意を得るとともに、原子力研究所長（以下「所長」という。）の承認を得て、平成29年7月1日から11月30日まで、施設定期自主検査を行っていることを、「原子炉施設巡視記録（平成29年4月1日～平成30年2月20日）」、「施設定期自主検査記録（平成29年度）」等の記録及び関係者聴取により確認した。

施設定期自主検査において、放射線管理施設の屋外管理用設備の一部であるサーベイメーター点検校正検査に伴い、検出器・GM計数管がメーカーの判定基準を満足していないことが判明し、点検業者からサーベイメーターを借用し、当該サーベイメーターは修理を行っており、その結果を所長に報告していることを、「修理、改造・取替記録（原子炉施設）（平成30年1月17日）」等の記録及び関係者聴取により確認した。

以上のことから、保安検査で確認した範囲において、保安規定の遵守状況について違反は認められなかった。

### (3)違反事項

なし

### 4. 特記事項

なし

(別添)

保安検査日程

月日	2月19日(火)	備考
午前	●初回会議 ○改善活動の取り組みに係る実施状況	
午後	○保守管理の実施状況(廃止措置作業の実施状況に係る検査も含む) ○現場確認	
	●チーム会議 ●まとめ会議	

注)○:基本検査項目、◇:抜き打ち検査項目 ●:会議等